

いよいよ小学校でも新学年のスタートです。新しい学年で、何かといそがしい時期だとは思いますが、学習のペースを乱さないように気をつけましょう。無理をせずに自分のペースで学習を進めていってください。

第25回～第28回では、物語を学習することで、心情や性格に着目して「部分どうしの因果関係を類推していく」ことを学習します。

また、語句単元では「受け身と受給表現」「使役と他動詞」「可能と自発」「敬語」を学習し、文の作り方や意味のとらえ方について身につけていくことが目標になります。

◆第25回 物語 変化する心情①／受け身と受給表現

今回から、物語の学習になります。物語では「登場人物（主人公）」「場面」をつかみ、どのような出来事が描かれているのかに注目して読み進めていくことがポイントです。5年生の学習では、「出来事」と「人物の様子や行動」を手がかりにして「心情の変化」をとらえていくことが目標です。

今回は、「出来事」や「人物の様子や行動」をもとに、それぞれの出来事の中での「心情」をとらえることに取り組んでいきます。まずは心情のとらえ方の基本形を身につけていきましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「受け身と受給表現」を学習します。受け身は「れる・られる」を使って動作を受けることを、受給表現は「動作をしてもらう側」か「動作をしてあげる側」かに注目して表します。「誰が」「何をした（された）」に注目して文の形を考えていくことが目標です。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・課題1～2

「読む」「書く」ツール・・・①～④

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・①～⑤

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二十五回

④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～5 ※動画内で解説しています。

◆第26回 物語 変化する心情②／使役と他動詞

今回も引き続き「心情」について学びます。前回学習した「心情」の読解方法を意識しながら、出来事の移り変わりに着目して「心情の変化」を考えていきましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「使役と他動詞」について学習します。文末に「せる」を付けて「使

役」の意味を表すものと、「(Aが) ~を~する」という意味で用いる他動詞について、しっかりと学びましょう。どちらも他のものや人に働きかける形になることを意識すると良いでしょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・課題1～2

「読む」「書く」ツール・・・¹～³

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の² (文章題)・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁵

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二十六回

- ④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション シナジー

文章²・・・1～5 ※動画内で解説しています。

◆第27回 物語 心情の間接表現／可能と自発

今回は、心情の表現のしかたについて学びます。物語では「うれしい」「悲しい」などの直接的な言い方を使わずに心情を表す方法がいくつもあります。前回学習した「心情の変化」の考え方も使いながら、それぞれの場面・出来事で心情が読み取れる表現を探してみましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「可能と自発」について学習します。第25回で学んだ「受け身」と同様に「れる」を使って、「可能」「自発」の意味を表す言葉になるので、文全体をしっかりと見て、どの用法で使っているのかを考えることが目標です。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・課題1～3

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁶

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の² (文章題)・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁴

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二十七回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション 探求

文章²・・・1～5 ※動画内で解説しています。

◆第28回 物語 性格と心情／敬語

今回で物語の学習がいったん終わりになります。これまでのまとめとして、出来事や心情を考えながら取り組みましょう。今回は「性格」に着目して文章を読むことが目標です。「やさしい人」や「がんばる人」など、その人の行動や心情に影響を与えるような性質に注目して、文章理解を深めましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「敬語」を学習します。第25回・第27回で学習した「れる」は、「尊敬」の用法も持っていて、これまでに学んだ分も含めて4つの用法を持つ言葉です。今回は「れる」を用いて「尊敬」の用法を考えることに関連して「敬語」について学びます。「いらっしゃる」「拝見する」など敬語特有の表現を持つ言葉に注意しながら取り組みましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・課題1～3

「読む」「書く」ツール・・・¹～³

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の²（文章題）・・・1～2

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁴

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二十八回

④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション 探求

文章²・・・1～5 ※動画内で解説しています。

いよいよ4月から小学校でも5年生に進級しますね。5年生になると、学ぶことが多くなってきますが、しっかりとがんばっていますか。第26回は四則混合計算と逆算。これで、計算に関してはすべて学んだこととなります。その上で、第27回からは、平面図形を学習していきます。平面図形は入試問題でよく出題される単元です。公式をしっかりとおさえながら取り組んでください。

各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第25回 数と計算 ～分数とわり算～

第24回で分数のかけ算を学んだので、分数のわり算は、それほど苦勞することなく取り組めたのではないのでしょうか。「÷ある数」＝「×ある数の逆数」であることを理解しましょう。注意しないといけないのは、上の関係が成り立つのは、÷の直後の数1つに限定されることです。また、仕事算にも取り組みました。「1あたりの量」という発想はとても大切になりますので、がんばっておきましょう。まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③ 知識技術 1～5

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～5

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 1, 5

栄冠への道・・・学び直し③ 1, 2

ひとりで問題と向きあうための準備 1～5

◆第26回 数と計算 ～分数と四則混合計算・逆算～

前回までに計算の仕組みを学習したので、第26回では、複雑な計算がでできます。整数もあれば、小数もあり、分数もあります。今までに学習したことを、しっかりとおさえながら取り組んでください。ただし、計算のルールは同じです。①左から順に計算する。②「かけ算・わり算」は「たし算・ひき算」よりも先に計算する。③かっこ()・{ }・[]があれば先に計算する。もう一度確認しながら取り組んでください。数の世界はどんどん広げてがんばりましょう。今回をもって、計算がメインテーマになる学習は終了します。みなさん、仕組みを理解して計算力アップを目指していこう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③④、知識技術 1～5

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～5

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ②, ③

栄冠への道・・・学び直し③①, ③, ⑥

ひとりで問題と向きあうための準備①～⑩

◆第27回 平面図形 ～多角形の面積～

今回からは、いよいよ平面図形の単元を学習します。入試ではよく出題される単元です。しっかりと取り組んでください。第27回では、直線図形の面積を学びます。三角形や台形などの基本となる図形の面積の求め方は理解できましたか？その上で、複合図形の面積まで発展させていきます。その視点として、「分ける」「移す」「取りのぞく」ということに着目していけば、求めることができます。ただし、求め方は1種類だけとは限りません。「どんな方法があるのかな？」といろいろな解き方を考えることは応用力をつけていくことにつながります。「シカクイアタマをマルくする」ためにがんばっていきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③④ 知識技術①～③

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑥

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ③, ⑥

栄冠への道・・・学び直し③①, ②

ひとりで問題と向きあうための準備①～④

◆第28回 平面図形 ～円とおうぎ形～

今回は「円」について学びました。「円周の長さ＝直径×円周率」「面積＝半径×半径×円周率」という公式でしたが、きちんと区別して覚えていますか？テストなどで、あせったり、集中力がとぎれたりすると、公式をまちがえることが多いので注意しましょう。また、「×3.14」の計算はしっかりとできますか？計算のコツとしては、1回1回計算するのではなく、分配法則を使いながら、まとめて計算するところがポイントです。しっかりと確認しておきましょう。さらに、円の一部である「おうぎ形」についても学びました。円の何分のいくつなのかを確認しながら取り組んでください。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③④ 知識技術①～⑦

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～4

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法1, 2

栄冠への道・・・学び直し③1, 2, 3

ひとりで問題と向きあうための準備1～5

発展講座で扱う問題は応用力を必要としますので、問題によっては難しいと思いますが、動画を見ながらしっかりと学習していきましょう。

◆第25回 数と計算 ～分数とわり算～

分数のわり算を学習することによって、小学校で習う計算技法はすべて学習したことになります。あとは、これらを活用するだけです。テキストにもありますが、「わり算はなぜ逆数をかければよいか」を深く考えることによって、さらに数への興味がわいてきますよ。また、算数でよく使う「1あたりの量」の理解を進めていくためにも、今回はとても大切な単元となります。

◆第26回 数と計算 ～分数と四則混合計算・逆算～

まずは「計算する順番の約束」をしっかり理解することが大切です。これは、整数でも小数でも分数でも同じ約束になります。そして、これからは整数・小数・分数が混ざった計算が出てきます。小数と分数が混ざったとき、どちらにそろえる方が良いのかをしっかりと見極めていきましょう。そのためにも、「小数→分数」「分数→小数」の変換が手際良くできるように練習しておきましょう。

逆算の順序は、「順算の逆」になりますが、特に「ひき算」と「わり算」の逆算の場合は注意が必要です。混乱したときは、線分図や面積図を利用したり、「 $12 \div \square = 6$ 」のような易しい問題で確認していきましょう。

今回で計算の単元は終わりになりますが、計算力をつけるためには日々の積み重ねが大切ですので、日々の計算練習を欠かさないようにしましょう。

◆第27回 平面図形 ～多角形の面積～

今回から平面図形の学習に入ります。図形の問題を解き進めるにあたって、大切なことは「基本定理をしっかり理解する」ことです。「平行」「垂直」など、問題の中で説明されず、自分で気がつかなくてはいけないこともあります。さらに、面積の公式が書かれることもありません。すべて理解していることを前提に問題が出題されますので、しっかり覚えておきましょう。

◆第28回 平面図形 ～円とおうぎ形～

これまでに習ってきた図形は、基本的に直線のみでできた図形でしたが、今回から曲線を含む図形が出てきます。円とおうぎ形ですね。

円周は、①直径、②半径のうち、いずれかがわかれば求めることができます。また、円の面積は、①半径、②直径、③「半径×半径」の値のうち、いずれかがわかれば求めることができます。まずそのことをおさえておきましょう。

おうぎ形の弧の長さは、円周 $\times\frac{\text{中心角}}{360}$ 、おうぎ形の面積は、円の面積 $\times\frac{\text{中心角}}{360}$ で求めることができます。

おうぎ形は、中心角が大きくなればなるほど、それにともなって弧の長さは長くなり、面積は大きくなるという感覚をもっておきましょう。

小学校でもいよいよ5年生になりますね。気持ちを新たに、力いっぱいふみ出しましょう。4月の理科では「水中の生物とそのつながり」「森林と生物」「栄養分の取り入れ方」「体内での物質の移動」について学びます。人体では、初めて出会う言葉がたくさんあります。一つ一つていねいに覚えていきましょう。

◆第16回 水中の生物とそのつながり

水中にぐらすプランクトンという生き物について、どのような働きをしているのか、観察方法と共に学びましょう。また、食物連鎖によって生物がつながっていることを理解しよう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・水中にぐらすプランクトンの種類や働きをもとに、分類してみましょう。
- ・けんび鏡を用いた小さな生物の観察方法を学びましょう。
- ・生き物の食べる・食べられるという関係(食物連鎖)について、学びましょう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第17回 森林と生物

植物の成長と日当たりの関係や、森林の内側と外側での環境のちがいを学んでいきましょう。また、森林がどのようにできていくのかということ、森林内でぐらす植物の変化に注意しながら学んでいきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・日光と植物の成長の関係について理解しよう。
- ・森林の内側と外側の環境のちがいについて理解しよう。
- ・森林内でぐらす植物の特ちょうを理解し、それぞれの植物の名前を覚えよう。
- ・森林の移り変わりについて、変化のようすと、その変化の理由を考えてみよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ

- ・学び直し②

◆第18回 栄養分の取り入れ方

わたしたちが体の中に栄養分を取り入れるとき、栄養分にどのような変化が起きているのかということに注意をしながら、人体の消化器官を学んでいきましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう
 - ・消化器官の名前と働きを理解しよう。
 - ・実験結果から、だ液の働きを理解しよう。
- ②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう
 - ・「本科教室」…オプション探求
 - ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③
- ③「栄冠への道」この問題にチャレンジ
 - ・学び直し②

◆第19回 体内での物質の移動

酸素や二酸化炭素、栄養分や不用物といったさまざまな物質が、どのようにして人体をめぐるのか、また、それぞれの物質の増減のようすに注意しながら、人体の循環器官や呼吸器官について学んでいきましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう
 - ・血液の役割、血管や心臓のつくりと働きを覚えよう。
 - ・肺のつくりと働きを理解しよう。
 - ・血液にふくまれる物質の増減のようすと、そのしくみを理解しよう。
- ②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう。
 - ・「本科教室」…オプション探求
 - ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③
- ③「栄冠への道」この問題にチャレンジ
 - ・学び直し②

◆第16回 日本の地方と都道府県

- ①では、「畿内と七道」、旧国名について学習します。旧国名は今の地形名に多く使われています。いままでに見聞きした地形名と同じ旧国名があるか、テキストの地図で確認してみましょう。
- ②では、47都道府県と8地方について学習します。まずはしっかりと覚えていくことが大切です。時間があれば「やってみよう!」をしてください。またP93の「社会探検」には「都道府県のシンボル」がまとめられています。是非参照しましょう。
- ③では、都道府県庁所在地と政令指定都市について学習します。しっかりと覚えることが大切です。

【これもおさえておこう!】

☞オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞白地図作業ノート P4・5 (都道府県)、
P6・7 (都道府県の形)

◆第17回 九州地方のくらしと産業

- ①では、九州地方の地形や気候について学習します。火山が多いこと、日照時間が長いことなど、九州の自然に関係することがらをしっかりと覚えておきましょう。
- ②では、九州地方の農業について学習します。有明海沿岸の干拓や筑紫平野の二毛作、宮崎平野の促成栽培、シラス台地の畜産業など、重要な知識がたくさん出てきます。
- ③では、北九州工業地帯を中心とする九州地方の工業について学習します。八幡製鉄所の建設を契機に発達したこと、いまは半導体や自動車の部品工場が多くなっていることを理解しましょう。
- ④では、沖縄県について学習します。さとうきびやパイナップルなどの畑作がさかんであること、また沖縄県の歴史をしっかりと確認しておきましょう。

【これもおさえておこう!】

☞オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞白地図作業ノート P30 (九州地方の地形)・P31 (九州地方の都市と産業)

◆第18回 中国・四国地方のくらしと産業

- ①では、中国・四国地方の地形や気候について学習します。山陰地方、瀬戸内地方、南四国の雨温図のちがいはしっかりとみておきましょう。入試でも必出です。
- ②では、瀬戸内地方の産業のようすについて学習します。瀬戸内地方は水不足になりやすいため、讃岐平野では「ため池」が多くみられること、みかんやレモンの栽培が多いこと、かきなどの養殖がさかんであること、瀬戸内工業地域が発達していることなどをしっかりと整理しておいてください。

③では、高知平野での促成栽培のようすをとらえます。宮崎平野、高知平野ではなすやピーマンの促成栽培がさかんです。促成栽培の利点について、テキストのグラフを使い、説明できるようにしておきましょう。地理資料集の「写真で見る日本の各地方：中国・四国地方」で高知平野のビニールハウスのようすなどを見ておくと印象に残りやすいと思います。

④では、山陰地方の課題について学習します。人口減少により「過疎」が進んでいること、スプリンクラーを使った農業などを理解しましょう。

【これもおさえておこう！】

☞オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞白地図作業ノート P 3 2 (中国・四国地方の地形)・P 3 3 (中国・四国地方の都市と産業)

◆第 19 回 近畿地方のくらしと産業

①では、近畿地方の地形や気候について学習します。昔は近畿地方に政治の中心(都)がありました。平城京や平安京、大仙古墳は有名ですね。コラム「日本最大の湖、琵琶湖」は読んでおきましょう。また気候面では、尾鷲の雨量の多さに気づいてください。④で学習する林業に関係します。

②では、近畿地方にある都市(歴史があり多くの文化財が残っている奈良や京都、商業の中心として発達した大阪)について学習します。奈良や京都には多くの伝統的工芸品があります。西陣織、清水焼くらいは覚えましょう。

③では、阪神工業地帯について学習します。古くから政治・経済の中心地であった近畿地方は、近代に入ってから経済的な中心地でした。阪神工業地帯は古くは日本一の生産額がある工業地帯でした。阪神工業地帯のおもな工業都市もあわせて覚えておきましょう。

④では、北部の山地(丹波高地)や紀伊山地に住む人々のようすについて学習します。北部の山地(丹波高地)では畜産業が、紀伊山地では林業がさかんであることを理解しましょう。

【これもおさえておこう！】

☞オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞白地図作業ノート P 3 4 (近畿地方の地形)・P 3 5 (近畿地方の都市と産業)